

(平成18年4月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>4月期の野菜の状況については、とりわけ西日本を中心とする産地における低温、日照不足等の影響を大きく受け、生育の遅れによる集荷が困難な状況であった。全体としては、前年同期を4%下回った。</p> <p>価格は、天候不順から入荷量が減少したことを背景に前年同期を8%上回った。</p> <p>品目別には、はくさい、キャベツ、レタス、洋人参、きゅうり、なす、トマトが天候不順の影響から生育の遅れ等によって入荷減となり、価格が前年同期を上回った。たけのこ、ばれいしょ、たまねぎは、前年を上回る入荷となり、価格は、前年を下回った。長大根、ほうれんそう、ピーマンは、順調な入荷であり、前年を上回り、価格についても、量販需要の伸びがよく前年を上回る結果であった。</p> <p>根菜類は、入荷が3%減少し、価格は8%高となった。 葉菜類は、入荷が8%減少し、価格は11%高となった。 果菜類は、入荷が17%減少し、価格は20%高となった。 土物類は、入荷が14%増加し、価格は7%安となった。</p>
果 実	<p>果実の入荷状況は、柑橘類、メロン、イチゴにおいて入荷量が減少した。リンゴ、スイカ等については、入荷量は増加したが、果実全体としては、前年同期を6%下回った。</p> <p>価格は、トータル的な入荷減ではあったものの、低温等の気象条件から需要が伸びず安値推移となり、前年同期を12%下回った。</p> <p>柑橘類は、入荷が16%減少し、価格は17%安となった。 りんごは、入荷が6%増加し、価格は17%安となった。 イチゴは、入荷が15%減少し、価格は4%安となった。 メロンは、入荷が6%減少し、価格は7%安となった。 スイカは、入荷が33%増加し、価格は21%安となった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<p data-bbox="229 353 370 385">【根菜類】</p> <p data-bbox="220 394 319 425">長大根</p> <p data-bbox="220 640 319 672">洋人参</p> <p data-bbox="220 846 347 878">たけのこ</p> <p data-bbox="229 1137 370 1169">【葉菜類】</p> <p data-bbox="220 1178 351 1209">はくさい</p> <p data-bbox="220 1429 347 1460">キャベツ</p> <p data-bbox="220 1715 411 1747">ほうれんそう</p>	<p data-bbox="513 394 1445 595">長崎，滋賀を中心とする入荷。春先からの低温による天候不順により全般的に昨年より太りが悪かったものの，新たな産地の入荷等もあり全体としては，入荷量は前年同期を3%上回った。 価格は，入荷増の状況ながら，量販店での需要と秀品率が高く，前年同期を12%上回った。</p> <p data-bbox="513 640 1445 797">徳島，長崎を中心とする入荷。降雨による天候不順から，大幅に生育が遅れ小玉傾向となり，前年同期を12%下回る入荷となった。 価格は，入荷減によって，前年同期を9%上回った。</p> <p data-bbox="513 846 1445 1088">京都，徳島，福岡を中心とする入荷。京都産は，裏年のため，入荷量は減少。徳島，福岡産は，順調な入荷となり，全体としては，前年同期を6%上回った。 価格についても，京都産は入荷減から高値で推移し，徳島，福岡産は入荷増により，安値で終わった。全体として，前年同期を3%下回った。</p> <p data-bbox="513 1178 1445 1379">茨城，長崎を中心とする九州産地からの入荷に加え，愛知，兵庫より残量が入荷。中心産地は，生育期の低温・降雨の影響から生育が遅れ，前年同期を9%下回る入荷となった。 価格は，入荷減に加えて，気温が低かったことから一般需要が伸び高値推移となり，前年同期を50%上回った。</p> <p data-bbox="513 1429 1445 1671">冬系は，愛知，大阪，春系は，兵庫，和歌山を中心とする入荷。愛知産の冷蔵ものの残量入荷はあったものの，各産地ともに低温，日照不足及び周期的な降雨により，生育の遅れと小玉傾向であったことから，前年同期を5%下回る入荷となった。 価格は，入荷減に加え，量販店の特売需要や加工需要の伸びから高値推移となり，前年同期を3%上回った。</p> <p data-bbox="513 1715 1445 1872">京都，徳島，茨城を中心に入荷。京都産は，台風の被害が響いた昨年と比較し順調に入荷。茨城産は，前年同期から大きく増加した。結果的に，前年同期を6%上回った。 価格は，入荷増の中であって，前年同期を5%上回った。</p>

レタス	<p>兵庫，徳島を中心に茨城からの入荷。各産地ともに低温，日照不足と周期的な降雨とトンネルから露地物への切り替え時期が重なり入荷量が大きく減少し，前年同期を14%下回った。 価格は，入荷減のため前年同期を4%上回った。</p>
<p>【果菜類】 きゅうり</p>	<p>宮崎，高知を中心に入荷。花落ちまでは無いものの，低温，日照不足の影響から入荷量は，前年同期を22%下回った。 価格は，品薄により前年同期を52%上回る高騰であった。</p>
なす	<p>高知，岡山を中心に入荷。各産地ともに低温，日照不足により生育は2週間程度の遅れが生じ，前年同期を9%下回った。 価格は，入荷減のため前年同期を8%上回った。</p>
トマト	<p>熊本，福岡，三重を中心に入荷。今冬の寒波が4月の収穫期に大きく影響し，収穫量が減少したことによって，前年同期を15%下回った。 価格は，入荷減のため前年同期を3%上回った。</p>
ピーマン	<p>宮崎，高知を中心に入荷。低温の影響から小玉傾向であり，不安定な入荷状況ではあったものの，結果的に前年同期を3%上回った。 価格は，不安定な入荷状況を背景に，高値で推移し前年同期を20%上回った。</p>
<p>【土物類】 ばれいしょ (メイク含む)</p>	<p>鹿児島，長崎を中心に一部北海道の残量の入荷。九州産地は，低温の影響は受けたものの全般的に順調な入荷となり，前年同期を25%上回った。 価格は，入荷増と昨年が高値推移であったことから前年同期を20%下回った。</p>
たまねぎ	<p>長崎，静岡を中心に北海道，佐賀からの入荷。低温の影響から不安定な入荷状況で，集荷困難ではあったものの，結果的に前年同期を7%上回った。 価格は，入荷増により，前年同期を7%下回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏柑	<p>熊本，福岡，和歌山を中心に入荷。12月からの低温，寒害，雪害の影響に加え，デコポンへの転換が進んでおり，入荷量は前年同期を35%と大きく下回った。</p> <p>価格は，低温等の天候不順から需要が伸びず，前年同期を13%下回った。</p>
ふじ （サン含む）	<p>青森からの入荷。ふじの産地在庫が少なく入荷量が減少し，前年同期を8%下回った。</p> <p>価格は，入荷減とはなったものの，品質が悪く前年同期を11%下回った。</p>
いちご	<p>熊本，大分，福岡，佐賀，愛媛を中心に入荷。各産地ともに3番果から4番果への切り替り時期となり，入荷量は，前年同期を15%下回った。</p> <p>価格についても，下級品が多く前年同期を4%下回った。</p>
アールス	<p>静岡，宮崎，熊本を中心に入荷。各産地ともに作付け面積の減少により入荷は大きく落ち込み，前年同期を15%下回った。</p> <p>価格は，アンデス，アムス等の出回りと冬場の高値の反動を受け，前年同期を9%下回った。</p>
すいか	<p>熊本からの入荷。昨年より大幅な前進出荷となり，入荷量は増加。前年同期を33%上回った。</p> <p>価格は，気温が低く消費の伸びが悪い結果となり，前年同期を21%下回った。</p>